



### (3) 職員の対応について (Q10-3)

- 《職員の対応》については、「良い」がほぼ半数の47.2%を占めている。また「ふつう」も44.0%となっており、職員に対する評価は概ね良好。「悪い」とする人はほとんどみられない(3.3%)。
- 職業別でみると、各層とも評価は良好だが、特に高校生で「良い」と評価する割合が最も高い。
- 性別・地域別による違いはあまりみられない。

- 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、全体では「良い」が37.8%→47.2%と9ポイント増。その分「ふつう」が57.5%→44.0%へと減少している。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別のいずれの層も、「良い」が増加、「ふつう」が減少という傾向は変わらない。その中で、職業別では自営業、地域別では中国・四国において、「良い」が大きく上昇したのが目立つ。



## (3) 職員の対応について (Q10-3)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (3) 職員の対応について

【基数:対象者全員】			(%)			
(N)			良い	ふつう	悪い	わからない
全 体	20年	(5000)	47.2	44.0	3.3	5.5
	17年	(5000)	37.8	57.5		4.7
高 校 生	20年	( 181)	53.0	38.7	3.9	4.4
	17年	( 87)	43.7	50.6		5.7
大学生・専門学校生	20年	(1453)	51.1	41.2		5.0
	17年	( 652)	45.6	50.0		4.4
会 社 員	20年	(2152)	44.1	46.7	3.7	5.4
	17年	(2099)	36.3	58.6		5.1
公 務 員	20年	( 207)	48.3	41.1	3.9	6.8
	17年	( 203)	40.4	57.6		2.0
自 営 業	20年	( 106)	50.0	44.3		2.8
	17年	( 143)	32.9	62.9		4.2
専業主婦	20年	( 448)	44.4	45.8	4.0	5.8
	17年	(1067)	34.6	60.2		5.2
その他	20年	( 453)	48.1	41.3		7.9
	17年	( 749)	39.5	56.7	2.6	3.7
性 別	20年	(2556)	46.9	44.2		5.4
	17年	(1705)	37.2	58.5	3.4	4.3
女 性	20年	(2444)	47.4	43.7		5.6
	17年	(3295)	38.1	57.0	3.2	4.9
地 域 別	20年	( 210)	50.5	41.0		6.7
	17年	( 200)	45.0	54.5	1.9	0.5
北 海 道	20年	( 355)	48.5	42.8		6.2
	17年	( 350)	38.3	56.6	2.9	5.1
東 北	20年	(1825)	45.8	44.7	4.3	5.2
	17年	(1800)	38.4	56.6		5.0
関 東 甲 信 越	20年	( 780)	47.7	44.1		5.3
	17年	( 750)	37.9	57.7	2.9	4.4
東 海 北 陸	20年	( 816)	47.2	43.3	3.3	6.3
	17年	( 850)	35.4	59.2		5.4
近 畿	20年	( 431)	50.1	43.6		4.9
	17年	( 450)	33.8	60.7	1.4	5.6
中 国 ・ 四 国	20年	( 583)	46.5	44.6	3.1	5.8
	17年	( 600)	39.5	56.8		3.7

注: 17年は「わからない」の回答肢なし。



### (4) 記念品や軽い飲食物について (Q10-4)

- 《記念品や軽い飲食物》に対するイメージでは、「良い」が40.9%に対し、「悪い」は9.9%となっており、好意的な評価が大きく上回る。なお、「ふつう」という意見が最も多く44.4%。
- 職業別でみると、他層に比べ自営業で「良い」がやや低く、その分「ふつう」評価が多くみられる。
- 性別では、女性の「良い」評価が男性を約7ポイント上回っている。
- 地域別では、北海道で「良い」と評価する割合が他地域に比べて目立つ。

- 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、全体では「良い」が36.7%→40.9%と若干上昇(4ポイント増)。一方、「ふつう」が7ポイント減。
- 職業別にみると、「良い」は専業主婦でやや上昇、逆に高校生でやや下がった。一方、自営業では「悪い」のスコアがやや高まっている。
- 地域別では、北海道、中国・四国で「良い」とする割合が10ポイント近くも上昇している。北海道はその分「ふつう」が大きく低下している。



## (4) 記念品や軽い飲食物について (Q10-4)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (4) 記念品や軽い飲食物について

【基数:対象者全員】			(%)				
			良い	ふつう	悪い	わからない	
全 体	20年	(5000)	40.9	44.3	9.9	5.0	
	17年	(5000)	36.7	51.5	11.8		
高 校 生	20年	( 181)	40.9	40.3	11.6	7.2	
	17年	( 87)	47.1	37.9	14.9		
大学生・専門学校生	20年	(1453)	43.8	41.5	10.0	4.7	
	17年	( 652)	41.6	49.8	8.6		
会 社 員	20年	(2152)	37.8	46.8	10.3	5.1	
	17年	(2099)	34.0	53.2	12.9		
公 務 員	20年	( 207)	44.0	41.5	10.6	3.9	
	17年	( 203)	44.3	46.8	8.9		
自 営 業	20年	( 106)	33.0	50.9	14.2	1.9	
	17年	( 143)	35.7	55.9	8.4		
専業主婦	20年	( 448)	44.6	44.0	7.1	4.2	
	17年	(1067)	36.6	50.8	12.7		
その他	20年	( 453)	42.8	42.8	7.9	6.4	
	17年	( 749)	37.4	51.4	11.2		
性 別	20年	(2556)	37.6	45.1	11.9	5.5	
	17年	(1705)	31.1	55.5	13.4		
女 性	20年	(2444)	44.3	43.5	7.8	4.4	
	17年	(3295)	39.6	49.5	10.9		
地 域 別	北 海 道	20年	( 210)	49.0	34.8	9.0	7.1
		17年	( 200)	40.0	50.0	10.0	
	東 北	20年	( 355)	41.1	44.8	8.5	5.6
		17年	( 350)	34.6	52.9	12.6	
	関 東 甲 信 越	20年	(1825)	39.9	45.3	10.1	4.7
		17年	(1800)	40.4	48.0	11.6	
	東 海 北 陸	20年	( 780)	40.9	44.1	10.5	4.5
		17年	( 750)	35.1	54.3	10.7	
	近 畿	20年	( 816)	37.1	48.5	9.4	4.9
		17年	( 850)	30.0	56.1	13.9	
	中 国 ・ 四 国	20年	( 431)	43.4	40.6	10.2	5.8
		17年	( 450)	33.8	53.3	12.9	
	九 州 ・ 沖 縄	20年	( 583)	43.9	41.5	9.9	4.6
		17年	( 600)	39.5	50.5	10.0	

注: 17年は「わからない」の回答肢なし。



### (1) 初めての献血した年齢 (Q12)

- 初めての献血した年齢は、「18～19歳」(33.4%)と「20～24歳」(32.3%)が、ともに1/3程度を占めており拮抗。これに「16～17歳」が28.6%で続き、10代での初献血経験者が全体の6割強を占めている。
- 職業別で見ると、当然のことながら高校生は「16～17歳」が9割近くを占め主流。大学生・専門学校生は「18～19歳」が4割と最も多い。一方、会社員、公務員は「16～17歳」が他層よりも低く、「20～24歳」が最も多くなる。
- 女性の初献血年齢が男性に比べて総じて若く、特に「16～17歳」で7ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「16～17歳」の割合が他地域に比べてやや高い。

- 17年度調査と比較すると、「16～17歳」が34.6%→28.6%と、6ポイント減となっている。一方、「18～19歳」「20～24歳」が若干増加傾向。
- 職業別では、「16～17歳」が減少したのは大学生・専門学校生、会社員、公務員、専業主婦。そのうち、大学生・専門学校生、自営業、専業主婦は共通して「20～24歳」がやや高まる。専業主婦は「18～19歳」もやや上昇しており、「18～24歳」が前回より10ポイント増えている。



## (1) 初めての献血した年齢 (Q12)

Q12. 初めて献血をしたのはいつですか。

【基数:対象者全員】			(%)				
(N)			16~17歳	18~19歳	20~24歳	25~29歳	
全 体	20年	(5000)	28.6	33.4	32.3	5.7	
	17年	(5000)	34.6	30.6	27.9	7.0	
高 校 生	20年	( 181)	87.3			12.7	
	17年	( 87)	87.4			11.5	
大 学 生・専 門 学 校 生	20年	(1453)	29.9	40.4	28.8	0.9	
	17年	( 652)	39.9	38.7	21.2	0.3	
会 社 員	20年	(2152)	23.0	31.4	37.2	8.5	
	17年	(2099)	28.8	29.6	32.8	8.8	
公 務 員	20年	( 207)	22.2	29.0	38.6	10.1	
	17年	( 203)	28.1	32.0	35.0	4.9	
自 営 業	20年	( 106)	33.0	27.4	31.1	8.5	
	17年	( 143)	33.6	35.7	21.0	9.8	
専 業 主 婦	20年	( 448)	27.7	34.2	29.7	8.5	
	17年	(1067)	39.7	28.6	24.6	7.0	
そ の 他	20年	( 453)	30.7	32.0	32.7	4.6	
	17年	( 749)	34.4	29.8	27.0	8.8	
性 別	20年	(2556)	25.2	32.9	35.0	6.9	
	17年	(1705)	28.6	31.5	31.8	8.1	
女 性	20年	(2444)	32.2	34.0	29.4	4.4	
	17年	(3295)	37.7	30.1	25.8	6.5	
地 域 別	北 海 道	20年	( 210)	28.1	36.7	27.6	7.6
		17年	( 200)	36.5	29.5	30.0	4.0
	東 北	20年	( 355)	38.0	33.5	24.5	3.9
		17年	( 350)	40.0	31.1	22.3	6.6
	関 東 甲 信 越	20年	(1825)	30.0	32.8	31.0	6.2
		17年	(1800)	36.6	29.7	26.9	6.8
	東 海 北 陸	20年	( 780)	28.7	34.6	31.7	5.0
		17年	( 750)	33.2	30.9	28.7	7.2
	近 畿	20年	( 816)	26.1	30.5	36.8	6.6
		17年	( 850)	29.2	30.4	31.9	8.6
	中 国・四 国	20年	( 431)	26.2	32.5	36.4	4.9
		17年	( 450)	27.8	32.2	33.6	6.4
	九 州・沖 縄	20年	( 583)	23.8	37.6	34.1	4.5
		17年	( 600)	39.2	31.7	22.3	6.8



### (2) 初めての献血した場所 (Q13)

- 初めての献血した場所は、「献血ルーム」が32.8%とほぼ1/3を占めており最も多い。以下、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(21.2%)、「献血バス」(21.0%)が同程度、「高校」(18.0%)の順で続く。
- 職業別で見ると、高校生は「高校(での集団献血)」が最も多い。それ以外は「献血ルーム」中心となっているが、特に専業主婦でやや高い。また、自営業、専業主婦は他層に比べて「献血バス」も比較的多い。一方、大学生・専門学校生は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」と「献血ルーム」がほぼ同程度となっている。
- 性別では、女性の「献血ルーム」利用率が男性を大きく上回っているのが目立つ。
- 地域別では、近畿で「献血バス」が他地域に比べてやや高くなっている。

- 17年度調査と比較すると、「献血バス」の割合が大きく減少しているが、前回、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」の回答肢がなかったため、一概には比較できない。
- 職業別では、各層とも「献血バス」が減少したのは共通。また、高校生は「高校」を挙げる割合が高まっている。一方、専業主婦は「高校」が減少し、「血液ルーム」が増加。女性も同様の傾向。



## (2) 初めての献血した場所 (Q13)

Q13. 初めての献血した場所はどこですか。

【基数:対象者全員】			(%)						
			(N)	高校	大学キャンパス又は 専門学校・各種 学校	職場	献血バス (左記以外)	献血ルーム (血液センター)	覚えていない
全 体	20年	(5000)		18.0	21.2	4.8	21.0	32.8	2.1
	17年	(5000)		22.6	5.2	37.1		32.6	2.5
高 校 生	20年	( 181)		38.1	1.7	0	23.2	31.5	5.5
	17年	( 87)		16.1	34.5		48.3		1.1
大 学 生・専 門 学 校 生	20年	(1453)		20.0	30.0	15.5	32.4		0.7
	17年	( 652)		21.3	38.3	0.3	37.4		2.6
会 社 員	20年	(2152)		16.3	19.8	8.1	22.7	31.2	1.8
	17年	(2099)		21.8	7.3	37.1		31.5	2.3
公 務 員	20年	( 207)		17.4	24.2	13.5	16.9	27.1	1.0
	17年	( 203)		20.2	13.3	35.0		29.1	2.5
自 営 業	20年	( 106)		19.8	9.4	26.4	36.8		5.7
	17年	( 143)		18.2	2.8	42.0	33.6		3.5
専 業 主 婦	20年	( 448)		11.6	14.7	4.7	26.1	40.4	2.5
	17年	(1067)		29.0	5.2	35.1	28.6		2.2
そ の 他	20年	( 453)		18.1	15.5	2.0	24.9	36.4	3.1
	17年	( 749)		19.4	2.4	39.0	36.0		3.2
性 別	20年	(2556)		19.6	24.6	6.1	21.8	25.1	2.9
	17年	(1705)		20.7	6.0	42.3	27.2		3.8
女 性	20年	(2444)		16.4	17.8	3.4	20.1	40.9	1.4
	17年	(3295)		23.6	4.7	34.4	35.4		1.9
地 域 別	20年	( 210)		12.4	22.9	7.1	15.7	40.0	1.9
	17年	( 200)		10.0	3.0	42.5	43.0		1.5
北 海 道	20年	( 355)		27.6	14.9	6.5	17.2	32.4	1.4
	17年	( 350)		32.3	5.4	33.1	27.7		1.4
東 北	20年	(1825)		19.2	18.1	3.7	19.2	37.4	1.4
	17年	(1800)		22.7	4.2	32.4	38.0		2.4
関 東 甲 信 越	20年	( 780)		20.5	20.8	4.7	20.6	31.5	2.7
	17年	( 750)		23.5	5.5	42.1	25.3		3.6
東 海 北 陸	20年	( 816)		13.5	23.3	4.5	29.0	27.5	2.2
	17年	( 850)		18.5	5.4	45.5	27.9		2.7
近 畿	20年	( 431)		16.2	26.2	6.0	21.8	27.8	1.9
	17年	( 450)		20.0	9.1	42.0	26.9		2.0
中 国・四 国	20年	( 583)		14.9	28.3	6.0	19.2	29.2	2.4
	17年	( 600)		27.7	5.0	30.0	35.7		2.4
九 州・沖 縄	20年	( 583)		14.9	28.3	6.0	19.2	29.2	2.4
	17年	( 600)		27.7	5.0	30.0	35.7		2.4

注: 17年は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」の回答肢なし。



### (3)初めての献血の種類 (Q14)

- 初めての献血種類は「200ml献血」が51.6%と過半数を占めている。「400ml献血」は28.9%となっている。なお、「成分献血」は5.7%。
- 職業別で見ると、高校生の7割が「200ml献血」。専業主婦も「200ml献血」が3人に2人の割合を占めており中心。一方、「400ml献血」は公務員で他層よりも高いのが目立つ。
- 性別では、男性は「200ml献血」と「400ml献血」が同程度、女性は「200ml献血」が圧倒的。
- 地域別では、他地域に比べて九州・沖縄で「400ml献血」がやや高めである。

- 17年度調査と比較すると、「200ml献血」が62.3%→51.6%で11ポイント減、「400ml献血」が18.9%→28.9%へ10ポイント増加。両者の差がやや縮まってきている。
- 職業別にみると、高校生を除く各層で「200ml献血」が減り、「400ml献血」が増加した。高校生はほぼ前回並みで変化はみられない。
- 性別では、男女とも共通して「200ml献血」が減り、「400ml献血」が増加。また、各地域別でもこの傾向は変わらない。



## (3)初めての献血の種類 (Q14)

Q14. 初めての献血の種類は何ですか。

【基数:対象者全員】			(%)				
(N)			200mL献血	400mL献血	成分献血	覚えていない	
全体	20年	(5000)	51.6	28.9	5.7	13.8	
	17年	(5000)	62.3	18.9	5.5	13.2	
高校生	20年	(181)	69.6	5.0	0.6	24.9	
	17年	(87)	71.3	4.6	0.1	23.0	
大学生・専門学校生	20年	(1453)	52.0	30.8	5.2	12.0	
	17年	(652)	58.9	21.8	5.1	14.3	
会社員	20年	(2152)	48.2	32.6	5.9	13.2	
	17年	(2099)	59.8	23.1	5.5	11.5	
公務員	20年	(207)	41.5	43.5	6.3	8.7	
	17年	(203)	57.6	32.5	6.9	3.0	
自営業	20年	(106)	42.5	32.1	3.8	21.7	
	17年	(143)	52.4	22.4	5.6	19.6	
専業主婦	20年	(448)	67.0	12.7	5.8	14.5	
	17年	(1067)	72.8	8.4	4.8	14.0	
その他	20年	(453)	50.6	23.4	8.6	17.4	
	17年	(749)	59.5	17.0	7.1	16.4	
性別	男性	20年	(2556)	39.5	39.6	4.7	16.2
	17年	(1705)	45.3	34.4	4.7	15.6	
女性	20年	(2444)	64.2	17.8	6.8	11.3	
	17年	(3295)	71.1	10.9	5.9	12.0	
地域別	北海道	20年	(210)	54.8	29.5	2.4	13.3
		17年	(200)	65.5	18.5	3.5	12.5
	東北	20年	(355)	60.6	21.4	5.6	12.4
		17年	(350)	69.4	17.4	3.4	9.7
	関東甲信越	20年	(1825)	51.9	29.6	5.6	12.9
		17年	(1800)	59.9	19.9	5.2	14.9
	東海北陸	20年	(780)	53.7	25.3	6.7	14.4
		17年	(750)	64.3	14.7	5.3	15.7
	近畿	20年	(816)	53.4	27.0	4.8	14.8
		17年	(850)	61.5	20.5	5.1	12.9
	中国・四国	20年	(431)	48.5	31.3	7.0	13.2
		17年	(450)	66.0	17.6	6.7	9.8
	九州・沖縄	20年	(583)	40.8	37.0	6.7	15.4
		17年	(600)	60.3	21.2	8.3	10.2



### (4)初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q15)

<新規質問>

- 初めての献血で『400ml献血』をすることに対してどう思うか聞いたところ、6割弱(57.2%)の人は「特に不安は感じない」としている。一方、「不安」と回答した人が26.4%と、4人に1人の割合でみられた。
- 職業別で見ると、「特に不安は感じない」は公務員で特に目立つ。一方、専業主婦の4割近くが「不安」としており、「特に不安に感じない」と拮抗している。なお、高校生でも過半数は「特に不安は感じない」としているが、他層に比べて「わからない」が多い。
- 性別では、女性の方が「不安」意識が男性を大きく上回っている。
- 地域別では、中国・四国、九州・沖縄で「特に不安は感じない」がやや高いが、総じてそれほどの違いはみられない。



## (4)初めての献血で400ml献血することへの不安意識 (Q15)

Q15. 初めての献血で400ml献血をすることをどう思いますか。

【基数:対象者全員】		(N)	特に不安は感じない			不安			わからない		
全体		(5000)	57.2			26.4			16.4		
職業別	高校生	(181)	56.4			19.9			23.8		
	大学生・専門学校生	(1453)	61.4			24.0			14.6		
	会社員	(2152)	57.6			26.3			16.2		
	公務員	(207)	67.6			19.3			13.0		
	自営業	(106)	55.7			23.6			20.8		
	専業主婦	(448)	43.3			39.1			17.6		
	その他	(453)	52.1			28.7			19.2		
	性別	男性	(2556)	64.4			19.9			15.7	
女性		(2444)	49.8			33.2			17.0		
地域別	北海道	(210)	58.6			24.8			16.7		
	東北	(355)	58.3			29.0			12.7		
	関東甲信越	(1825)	57.5			27.2			15.3		
	東海北陸	(780)	52.8			28.3			18.8		
	近畿	(816)	54.3			27.0			18.8		
	中国・四国	(431)	61.3			22.3			16.5		
	九州・沖縄	(583)	62.4			22.6			14.9		



### (1) 過去1年間の200ml献血回数 (Q16-1)

- 過去1年間で『200ml献血』をした経験のある人は46.1%とほぼ半数。
- 献血した回数では「1回」が27.4%と中心で、「2回」が10.8%で続く。なお、“2回以上”の複数回献血者は全体の2割弱(18.8%)となっている。
- 職業別で見ると、献血経験率は高校生が8割以上で圧倒的に高い。そのうちの大半が「1回」である。大学生・専門学校生がこれに続き、献血経験率は半数。やはり「1回」が中心。一方、公務員の献血経験者は1/3程度にとどまり、他層に比べて低い。
- 性別では、男性に比べて女性の献血経験率が上回る。(男性:40.3%<女性:52.2%)
- 地域別では、他地域に比べて九州・沖縄での献血経験率が低いのが目立つ。

- 17年度調査と比較すると、全体では献血経験率が40.5%→46.1%へ、約6ポイント上昇した。「1回」の献血者が前回に比べて増えている。
- 職業別にみると、公務員、自営業等を中心に「1回」中心ではあるが、総じて献血経験率がやや高まっている。しかし、高校生では唯一前回に比べて約9ポイント減となっている。
- 性別・地域別では、各層とも「1回」を中心に、総じて献血経験率がやや高まっている。